

## Dialogue 31 Saying someone is obliged to do something -したほうがいいのかきく-

### 教室での活動案

アクティビティ名：「**セリフを入れよう！**」

提示される吹き出しの絵の内容に合わせてターゲット表現を変えて repeat(くり返し練習)をする活動。

Target Expression: **Should I ~?**

(何か持っていったほうがいいのかきく?)

用意するもの：

圭とハインリックの絵

動作の吹き出しカード(吹き出しの中に動作の絵が描かれているもの)

描かれている動作：      何か持っていく (bring something)  
   ご両親におじぎをする (bow to his parents)  
   靴をぬぐ (take off my shoes)  
   お箸を使う (use chopsticks) など。

★黒板に示されたカードに合わせ、圭かハインリックになったつもりで動作の吹き出しカードに描かれている表現を「したほうがいいのかきく」きく。

- ① 教師がはじめに言ったセリフを生徒が繰り返して練習する。
- ② 生徒をあてて、吹き出しカードのセリフを言わせる。
- ③ 生徒同士で吹き出しカードを選んでお互いにたずねあう。

例)

Teacher:            Heinrich is asking Kei about... (動作の描かれた吹き出し「bring something」を示す)。(ハインリックの声を真似て) Should I bring something? Ok, repeat. Should I bring something?

Classroom:        Should I bring something?

Teacher:            Ok, then, Heinrich is asking....(吹き出しを違うものに変える) Should I bow to his parents? Repeat.

Classroom:        Should I bow to his parents?

教師：ハインリックは圭に聞いています。「何か持っていったほうがいいの？」ではリピートしましょう。「何か持っていったほうがいいの？」

教室：「何か持っていったほうがいいの？」

教師：いいですよ、では、ハインリックは聞いています……「彼の両親におじぎをするべきですか？」リピートしましょう。

教室：「彼の両親におじぎをするべきですか？」

---

【発展】「圭たちは明日遠足。何を持っていけばいいか？」という状況を設定して、上記の活動と同じ手順で、活動を進める。

用意するもの：

遠足について考えている圭の絵

持ち物の絵のかかれた吹き出しカード

持ち物：            お弁当(lunch)、着替え(changes of clothes)、  
傘(an umbrella)、お菓子(sweets)、飲み物(something to drink)、  
帽子(a cap)、教科書(a textbook)、ノート(a notebook)、  
鉛筆(a pencil) など

例)

Teacher: Ok, look at the blackboard. Tomorrow, Kei is going on a picnic.

What should he bring?

Student: *Obenntou!*

Teacher: Ok, repeat. Should he bring lunch?

Classroom: Should he bring lunch?

Teacher: Good. Now, answer the question. Should he bring lunch? Answer.

Classroom: Yes.

Teacher: Right. He should bring lunch.

教師：はい、では黒板を見て。明日、圭は遠足に行きます。彼は何を持っていくべきかな？

生徒：お弁当！

教師：そうね、繰り返して。彼はお弁当を持っていったほうがいいの？

教室：彼はお弁当を持っていったほうがいいの？

先生：いいですね。それでは質問に答えてみてください。彼はお弁当を持っていったほう